



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6806 URL https://www.hirose.com/jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 和徳  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)福本 広志 (TEL)045-620-3491  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	94,658	10.7	22,756	6.9	23,513	4.0	16,216	0.5
29年3月期第3四半期	85,502	△7.0	21,293	△7.2	22,615	△9.2	16,143	△5.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 20,757百万円(31.8%) 29年3月期第3四半期 15,748百万円(6.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	465.90	465.69
29年3月期第3四半期	461.95	461.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	340,248	305,139	89.6
29年3月期	326,696	296,293	90.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 304,915百万円 29年3月期 295,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	120.00	—	120.00	240.00
30年3月期	—	240.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	240.00	480.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期 第2四半期末配当の内訳 普通配当 120.00円 記念配当 120.00円

30年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当 120.00円 記念配当 120.00円

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	9.5	29,200	2.5	30,300	1.7	21,400	0.2	614.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	40,020,736株	29年3月期	40,020,736株
30年3月期3Q	5,177,095株	29年3月期	5,224,434株
30年3月期3Q	34,805,699株	29年3月期3Q	34,946,043株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は平成30年1月31日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配賦する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、輸出増や堅調な設備投資等により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、海外におきましても、地政学リスクによる警戒感はあるものの、欧米経済及び中国経済は引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は946億58百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は227億56百万円（同6.9%増）、経常利益は235億13百万円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162億16百万円（同0.5%増）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

#### [多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基盤)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第3四半期連結累計期間は、産業用機器市場向けビジネスや民生用機器向けビジネスの受注・売上が堅調に推移したため、売上高は809億71百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は210億78百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

#### [同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォン及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。

なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高は95億64百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は15億40百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

#### [その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高は41億21百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益は1億38百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ135億51百万円増加して、3,402億48百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金の増加などにより47億5百万円増加して351億8百万円となりました。また、純資産は利益剰余金の増加などにより88億46百万円増加して3,051億39百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.6%となり、前連結会計年度末と比べ1.0%減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成29年10月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

ただし、昨今の為替レートの趨勢を鑑み、第4四半期の想定平均為替レートを、対ユーロでは従来の125円から130円に、対韓国ウォンでは従来の0.098円から0.100円に、それぞれ変更しました。なお、対USドルは従来どおり110円の前提としています。

配当予想につきましては、平成29年10月31日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	185,247	186,055
受取手形及び売掛金	28,485	31,499
有価証券	21,886	14,899
商品及び製品	4,742	6,955
仕掛品	2,815	3,302
原材料及び貯蔵品	1,334	1,682
未収入金	4,351	4,412
その他	3,909	4,632
貸倒引当金	△63	△69
流動資産合計	252,709	253,370
固定資産		
有形固定資産	44,027	51,296
無形固定資産	1,565	1,773
投資その他の資産		
投資有価証券	26,451	32,393
退職給付に係る資産	15	—
その他	1,954	1,440
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	28,394	33,807
固定資産合計	73,987	86,877
資産合計	326,696	340,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,388	13,551
未払法人税等	3,763	3,064
賞与引当金	1,664	1,668
役員賞与引当金	98	115
その他	6,556	8,933
流動負債合計	23,471	27,333
固定負債		
退職給付に係る負債	257	524
その他	6,673	7,249
固定負債合計	6,931	7,774
負債合計	30,402	35,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,223	11,441
利益剰余金	321,493	325,178
自己株式	△58,903	△58,372
株主資本合計	283,217	287,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,371	7,634
為替換算調整勘定	5,309	9,618
退職給付に係る調整累計額	40	10
その他の包括利益累計額合計	12,721	17,262
新株予約権	354	224
純資産合計	296,293	305,139
負債純資産合計	326,696	340,248

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	85,502	94,658
売上原価	45,472	50,301
売上総利益	40,029	44,356
販売費及び一般管理費	18,735	21,600
営業利益	21,293	22,756
営業外収益		
受取利息	460	473
受取配当金	228	270
為替差益	247	—
その他	491	571
営業外収益合計	1,427	1,315
営業外費用		
為替差損	—	349
持分法による投資損失	73	171
その他	31	38
営業外費用合計	105	558
経常利益	22,615	23,513
特別損失		
固定資産除却損	220	312
特別損失合計	220	312
税金等調整前四半期純利益	22,394	23,201
法人税等	6,251	6,985
四半期純利益	16,143	16,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,143	16,216



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	16,143	16,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	263
為替換算調整勘定	△676	4,308
退職給付に係る調整額	134	△29
その他の包括利益合計	△394	4,541
四半期包括利益	15,748	20,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,748	20,757

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社（一部を除く）は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,523	9,058	80,581	4,920	85,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	71,523	9,058	80,581	4,920	85,502
セグメント利益(営業利益)	19,707	1,443	21,150	143	21,293

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の 地域	合計	
I 売上高(百万円)	24,959	5,032	50,465	4,054	989	60,542	85,502
II 連結売上高に 占める割合(%)	29.2	5.9	59.0	4.7	1.2	70.8	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,971	9,564	90,536	4,121	94,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	80,971	9,564	90,536	4,121	94,658
セグメント利益(営業利益)	21,078	1,540	22,618	138	22,756

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の 地域	合計	
I 売上高(百万円)	27,060	5,726	56,311	5,097	461	67,597	94,658
II 連結売上高に 占める割合(%)	28.6	6.0	59.5	5.4	0.5	71.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。